

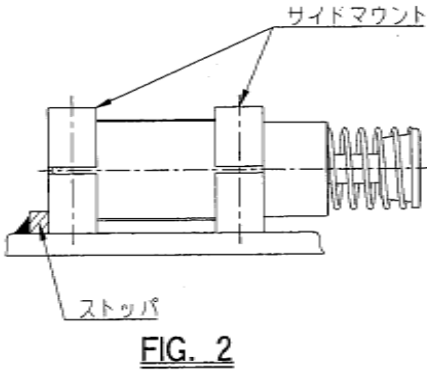
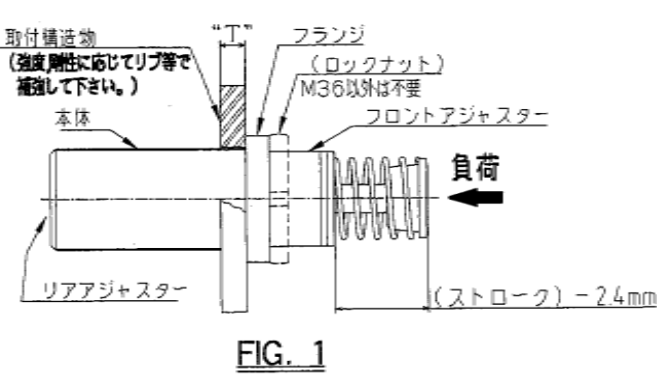
調整型ソフトアブソーバーの取付け・取扱い説明書

(F M A ・ F M L 型マグナムシリーズ・ソフトアブソーバー)

調整型ソフトアブソーバーの取付け・取扱い説明要領に従い、充分注意して設置していただければ、安全かつ長期間に渡って最適な状態でご使用になれます。

取付け概要

設置場所に歪が無く、充分強度がある構造物上に、ソフトアブソーバーを取付けて下さい。(FIG. 1)
ロッド先端のロッドキャップと荷重物体が水平に当たる様に調整(最大偏心角度:±5°)して下さい。
熱を最大限に発散させる為、本体への塗装は避けて下さい。必要に応じ保護板を使用し、酸、スチーム、溶接スパッタ、ヒューム、粉塵等から本体を保護する様に処置して下さい。又、2本以上で併用してご使用の場合は、同一機種を使用し、荷重が均等に分配される様に設置して下さい。
サイドマウントをご使用の場合は、ストッパで受けるようお願い致します。(FIG. 2)



◎取付け部板厚とフランジ取付けボルト

シリーズ	“T” 最小寸法	取付ボルト
FMA、FML 3 3	1 0 mm	M 6
FMA、FML 4 5	1 3 mm	M 8
FMA、FML 6 4	1 6 mm	M 1 0
FMA、FML 3 6	1 6 mm	M 1 2

調整型ソフトアブソーバーの調整要領

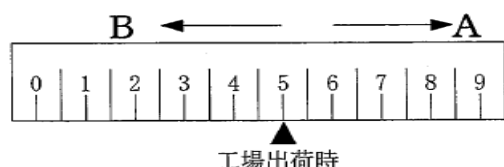
(FMA・FML型マグナムシリーズ・ソフトアブソーバー)

この度は、弊社産業用ソフトアブソーバーをご使用いただき、誠に有難うございます。

ソフトアブソーバーの調整とは、理想的な衝撃吸収になるように、アプリケーション各種に応じて(使用状況によって)等価質量が適合するようにオリフィスを開閉させて、最適な目盛位置を決定する作業です。

ソフトアブソーバーは、0～9 の目盛がついており、この範囲内でアジャスターにて調整致します。(オリフィスは、0 で全閉、9 で全開状態になります。)

ソフトアブソーバーは、工場出荷時にアジャスター目盛が 5 にセットされておりますので、ご使用に当たりましては各アプリケーションごとに調整が必要になります。



マグナムシリーズアブソーバーの調整型は、目盛が前部及び後部の 2 カ所の設定です。フロントまたはリアのアジャスターのどちらか都合の良いほうを選択して頂き、調整作業を実施して下さい。

まず、装置に取付が終わりましたら、目盛 5 のままで物体を衝突させます。

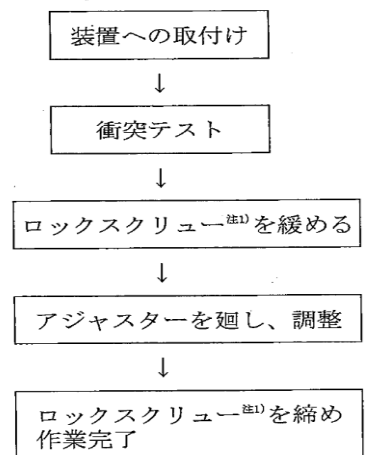
この時、衝撃吸収が十分であれば、そのままご使用できますが、衝撃吸収が不十分な場合は、ロックスクリュース注1)を緩めて(工具：六角レンチ 2mm)アジャスターが廻るようにいたします。(ロックスクリュース注1)は、1 回転で緩むようになっております。廻し過ぎてロックスクリュース注1)を紛失しないようにして下さい。アジャスターの作動は、本体構造上少し硬めになっております。フロントアジャスターはピンレンチ、リアは六角レンチで廻します。)

衝突時、次のような現象が現れた場合、必ず調整作業を実施して頂きます。これを怠るとソフトアブソーバーの役目を果たさぬばかりは、取付機器本体へも悪影響が発生いたしかねませんので、必ず調整は実施して下さい。

符号	現象	処 置
A	◎衝突の初期に強いショックが発生する。	◎目盛 5 から 9 の方向にアジャスターを廻し、適切な位置に設定して下さい。
B	◎衝突の後半に強いショックが発生する。	◎目盛 5 から 0 の方向にアジャスターを廻し、適切な位置に設定して下さい。
C	◎目盛 1 以下でもショックを吸収しない。	◎1 段階上のアブソーバを検討して下さい。

調整が終わりましたら、ロックスクリュース注1)を締め、アジャスターが振動等で廻ることのないようにして、作業完了となります。

(作業手順)



(あまり強く締めすぎない様に！)

注 1) FMA/FML-6 4 シリーズのみで、他のシリーズはロックスクリュースはありません。

ソフトアブソーバーが原因で発生した二次災害については、不二ラテックス(株)は責任を負いかねます。
二次災害の起こらない様対策を行って下さい。

不二ラテックス株式会社

精密機器本部

営業部

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3 - 1 9 - 1

TEL 03 (3 2 5 9) 2 5 2 4

FAX 03 (5 2 8 2) 7 5 2 0